

新発売

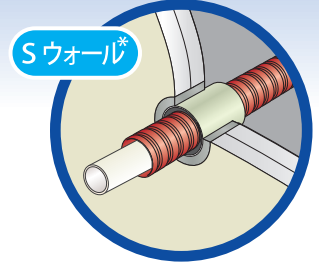
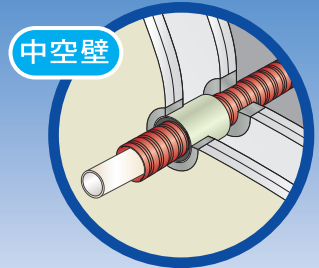
給水・給湯管、冷温水管、さや管貫通およびケーブルのさや管貫通の防火区画貫通部耐火措置工法

IRG-S

耐火プラグ[®]S

国土交通大臣認定番号: PS060WL-0553 (壁) / PS060FL-0552 (床) / PS060WL-0472 (中空壁) / PS060WL-0519 (片壁)

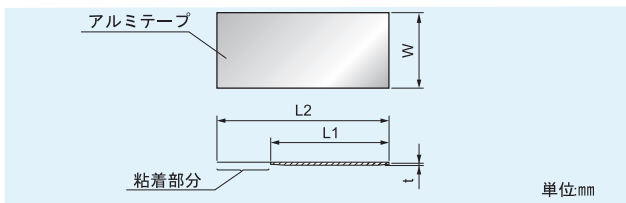
(財)日本消防設備安全センター認定番号: KK23-013号 (床) (共住) / KK23-014号 (壁) (共住) / KK21-012号 (中空壁) (共住)



従来の耐火プラグIRG-Nと比べて
コンパクトになりました! (幅90→55mm)
水道用(建築用)銅管・ステンレスフレキ管にも
対応可能です! (壁・床)

*「Sウォール」は
吉野石膏株式会社の商標です。

製品仕様



■セット明細

記号	部品名	数量
①	耐火プラグS	1
②	取扱説明書	1
③	国土交通大臣認定表示シール	1

コード	型番	適合配管外径	寸法 (mm)				価格	梱包
			L1	L2	W	t		
④ 64106	IRG-28S	φ28以下	120	170	55	2.5	¥1,250	100
④ 64116	IRG-48S	φ48以下	175	235	55	2.5	¥1,350	100

適用範囲

		壁 (ALC、コンクリート)	床 (ALC、コンクリート)	中空壁	片壁 (Sウォール [※])	
構造	厚み	100mm以上		85mm以上 ^{※2}	42mm以上	
	開口面積・開口径	矩 形	125mm×478mm以下	125mm×507mm以下	-	-
		円 形	φ 125mm以下		φ 70mm以下 (配管種類により異なる)	
	占積率	42.42%以下		39.99%以下	51.02%以下 (配管種類により異なる)	85.8%以下 (配管種類により異なる)
最大配管・ケーブル	架橋ポリエチレン管	25A	25A	25A	25A ^{※3}	
	ポリプロピレン管	25A ^{※3}	25A ^{※3}	25A ^{※3}	-	
	ポリブテン管	25A	25A	25A	25A ^{※3}	
	金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	25A	25A	25A	25A ^{※3}	
	水道用(建築用)銅管	20A	20A	-	-	
	硬質ポリ塩化ビニル管	30A	30A	-	-	
	被覆材	φ 50.0mm (厚み 10.0mm)				
	架橋ポリエチレン管	20A	20A	20A	20A ^{※3}	
	ポリプロピレン管	20A ^{※3}	20A ^{※3}	20A ^{※3}	-	
	ポリブテン管	20A	20A	20A	20A ^{※3}	
	金属強化ポリエチレン管(アルミ複合三層管)	20A	20A	20A	20A ^{※3}	
	さや管、CD管、PF管	φ 42.0mm (横円: 40.0mm × 27.0mm)		φ 42.0mm		
	架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル ^{※1}	20A ^{※4}	20A ^{※4}	20A	20A ^{※3}	
	ポリプロピレン管+制御用ケーブル ^{※1}	20A ^{※3}	20A ^{※3}	20A ^{※3}	-	
	ポリブテン管+制御用ケーブル ^{※1}	20A ^{※4}	20A ^{※4}	20A	20A ^{※3}	
	アルミニウム蒸着PETフィルム巻き トリプル架橋ポリエチレン管+制御用ケーブル ^{※1}	10A×2本 7A×1本	10A×2本 7A×1本	-	-	
	アルミニウム蒸着PETフィルム巻き ベアポリブテン管+制御用ケーブル ^{※1}	10A×2本	10A×2本	-	-	
ステンレスフレキ管	25A	25A	-	-		
ケーブル	-	CVT600V 22mm ²	CV600V 38mm ² ×3C ^{※3}	-		

※1 屋外で使用する際は、紫外線、雨水などが当たらないように処置してください。

※2...制御用ケーブルはφ1.5mm×3本

※3...特定共同住宅での中空壁は、100mm以上となります。

※4...これらの配管は特定共同住宅には対応しておりませんのでご注意ください。

※5...さや管(壁から300mm以上)から内管を出す施工が可能です。

お問い合わせは、

http://www.INABA-DENKO.com/



因幡電工事業部
〒108-0075 東京都港区港南4-1-8 リバージュ品川(11F)
因幡電機産業株式会社

札幌営業所(011)209-1784(代) / 金沢営業所(076)262-1783(代) / 仙台推進課(022)293-1785(代)
仙台営業所(022)293-1785(代) / 近畿1課(06)4391-1940(代) / 東京推進課(03)5783-1721(代)
関東営業所(048)642-1783(代) / 近畿2課(06)4391-1732(代) / 名古屋推進課(052)541-1780(代)
首都圏1課(03)5783-1723(代) / 広島営業所(082)545-1132(代) / 大阪推進課(06)4391-1941(代)
首都圏2課(03)5783-1724(代) / 九州1・2課(092)525-1782(代) / 福岡推進課(092)525-1782(代)
神奈川1・2課(045)470-1780(代) / 広島1課(06)4391-1713(代) / 海外販売課(06)4391-1920(代)
名古屋営業所(052)541-1780(代) / 広島2課(03)5783-1722(代)

《施工手順》

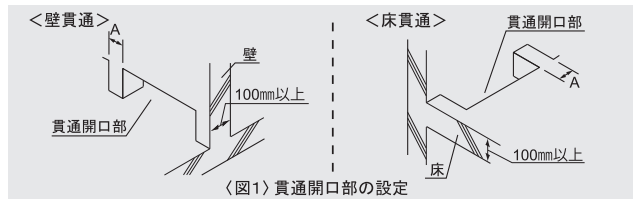
■ 壁（中空壁・片壁（Sウォール*）を除く）・床貫通の場合

*「Sウォール」は吉野石膏株式会社の商標です。

①貫通開口部の設定

配管サイズ、本数、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

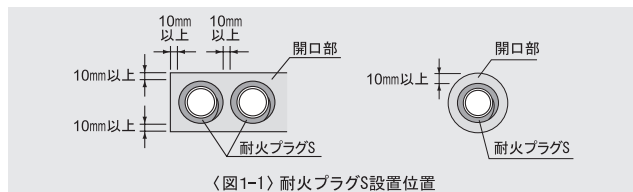
〈注意〉消防共住区画評定における住戸と住戸間の貫通の場合、開口部ピッチAは、それぞれの貫通穴の面積を円に換算し、大きいほうの円の直径以上（当該換算した直径が200mm以下の場合は200mm以上）あける必要があります。



〈注意〉複数同時貫通の時は、必ず10mmピッチ以上。開口面積は、壁：125×478mm以下、床：125×507mm以下になるように貫通開口部を設けてください。

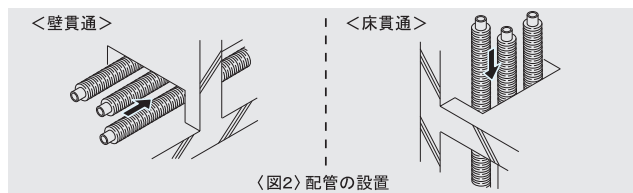
〈注意〉丸穴の場合は隙間が10mm以上になるようにして、占積率を考慮の上、開口してください。

〈注意〉丸穴の開口径は、壁・床ともにφ125以下にしてください。



②配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定してください。

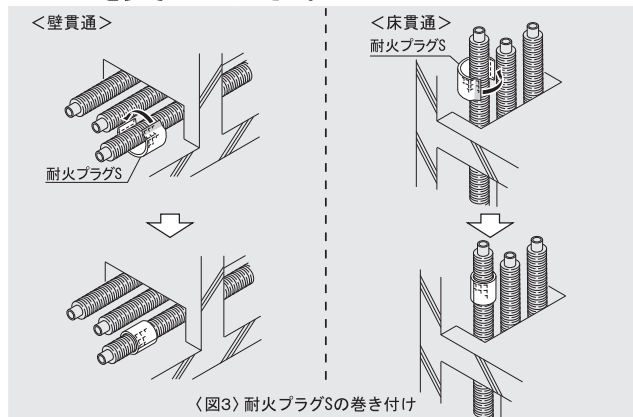


③耐火プラグSの巻き付け

耐火プラグSを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼り付けて固定してください。

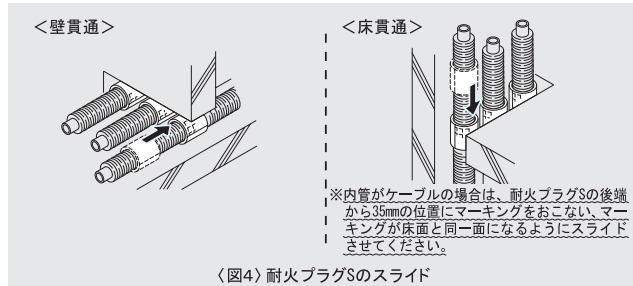
〈注意〉このとき、耐火プラグSと配管との間に隙間が無いように注意してください。

〈注意〉耐火プラグSに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。



④耐火プラグSのスライド

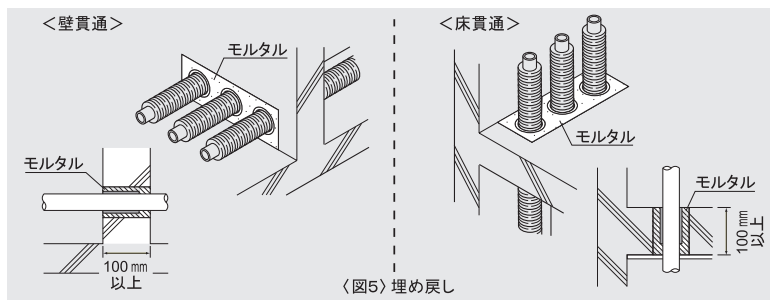
耐火プラグSの端面を壁面・床上面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。



⑤埋め戻し 貫通開口部と配管の隙間に、100mm以上モルタル埋め戻しをしてください。

埋め戻し部に隙間が無い事を確認してください。

床貫通の場合はあて板をあて、モルタルで埋め戻してください。乾燥後はあて板を取り外してください。



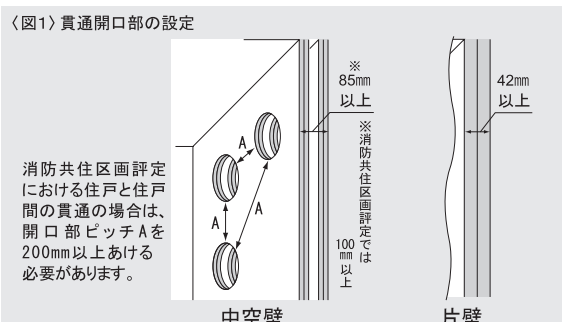
■ 中空壁・片壁（Sウォール*）の場合

*「Sウォール」は吉野石膏株式会社の商標です。

①貫通開口部の設定（中空壁・片壁共通）

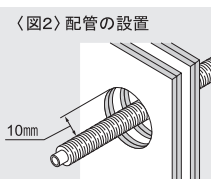
配管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部を設けます。

〈注意〉貫通させる配管外径に20mm（中空壁）、4～20mm（片壁）加えた値を開口径とします。



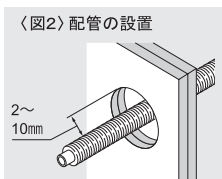
②配管の設置（中空壁）

配管の設置を行い、開口穴の縁から10mm離れるように支持・固定してください。



②配管の設置（片壁）

配管の設置を行い、開口穴の縁から2～10mm離れるように支持・固定してください。

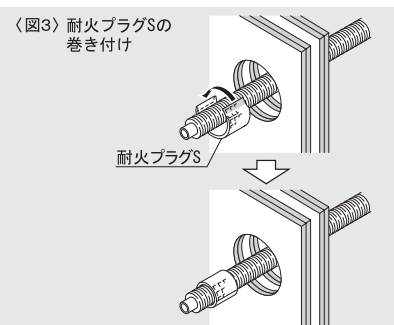


③耐火プラグSの巻き付け（中空壁・片壁共通）

耐火プラグSを配管に対して巻き付けてアルミテープ部分を貼りつけて固定してください。

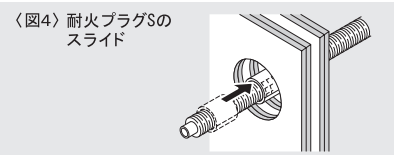
〈注意〉このとき、耐火プラグSと配管との間に隙間が無いように注意してください。

〈注意〉耐火プラグSに印字されている巻き付け配管径目安ラインを参考にしてください。



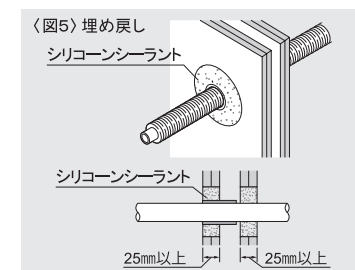
④耐火プラグSのスライド（中空壁・片壁共通）

耐火プラグSの端面を壁面に面一になるように配管に沿わせてスライドさせてください。



⑤埋め戻し（中空壁）

貫通開口部と配管の隙間に、壁表面の両側から25mm以上シリコンシーラントで埋め戻しをしてください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。



⑤埋め戻し（片壁）

貫通開口部と配管の隙間に、壁表面から42mm以上シリコンシーラントで埋め戻しをしてください。埋め戻し部に隙間が無いことを確認してください。

